

令和8年（2026年）3月25日

北海道教育委員会教育長 様

北海道紋別高等学校長

次のとおり令和7年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

【重点目標】

- 1 主体的な学び・行動による学力の向上と進路実現
- 2 新たな知識、人間性、社会性を育む教育の充実
- 3 地域との協働を通して、地域を担う人材の育成

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
教 務	「主体的・対話的で深い学び」の実現や「個別最適な学び」「協働的な学び」を進める指導、ICTを活用したについては日頃から取組がされており、概ね目標が達成された。 一方、各教科内の情報共有と効率的な教材研究については今後、改善の余地があるといえる。	授業についての指導方法や指導内容の工夫と改善については概ね良好といえる。 また、地域の教育的資源の活用についても紋別市唯一の高等学校であり、特に職業学科においては様々な教育活動の面で地域と連携して進めることができた。
改善方策	教科内の情報共有については今後改善に向けて検討を要する。公開授業週間での授業参観を積極的に参加し、各教員の授業におけるスキルアップを目指す。 教務関係の業務についてもさらに見直しをし、業務の精選や運用の改善をかけてよりよい運営を目指す。	公開授業週間での授業参観を積極的に参加し、各教員の授業におけるスキルアップを目指す。
生徒指導	道徳教育の計画や教科横断的な視点に立った取組と、学校いじめ防止対策委員会の組織的な対応については概ね目標が達成されたといえる。 特に学校いじめ防止対策委員会は早期に開き、早期に対応したことでいじめを防止することができた。 教育相談における教職員間の情報交換については課題が残る点があり、改善していきたい。	授業における指導方法や指導内容の工夫・改善については目標を十分に達成できている。 交通安全・いじめ防止・薬物乱用防止など生徒の安全と健康に関する指導についても概ね目標を達成しているといえる。
改善方策	いじめ防止対策委員会の対応は十分に対応できたが、今後もさらに委員会の円滑な運営を行うために会議の進行について改善をしていく必要がある。 教育相談についてはさらに教職員間の連携を密にするとともに、スクールカウンセラーとの連携と情報共有を図っていきたい。	いじめ防止対策委員会の対応は十分に対応できたが、今後もさらに委員会の円滑な運営を行うために会議の進行について改善をしていく必要がある。
進路指導	生徒・保護者と担任・学科・進路指導部と連携した進路指導は概ね目標を達成できたといえる。また、体系的なキャリア教育と地域人材を活用した教育活動も十分に実施できたといえる。	生徒一人一人の進路指導については十分に目標が達成できたといえる。今後も一人一人に寄り添い、進路希望を実現できるように進めてもらいたい。
改善方策	組織的な進路指導体制の確立のため小論文や志望理由書の指導が特定の教員に集中していることから、役割を分担して教員の負担軽減に努めていきたい。 模試の全体結果については教職員には情報を提供したものの、生徒への周知がやや不足していたので、次年度に向けて改善していきたい。	組織的な進路指導体制の確立のため小論文や志望理由書の指導が特定の教員に集中していることから、役割を分担して教員の負担軽減に努めていきたい。
公表方法	ホームページ上に学校評価報告書及び学校評価資料を掲載する。	

3 添付資料

学校評価資料